

たから

TAKUSUI
No. 620

6

June. 2008

兵庫の漁業人のための情報誌



冬柴国土交通相に要望書を手渡す対策本部の一行(6月3日)

ニュース◇

漏油の即時防止など

国の誠意ある対応を求める

— G号流出油事故対策本部長ら中央要請 —

燃油高騰! 動けぬ漁船!

国交省・農水省などへ要請行動！！

G号流出油対策本部（本部長：小松JF兵庫漁連会長）は、6月3日、国土交通省及び農林水産省を訪れ、5月18日の抗議集会で決議した「特定航路の漁業被害対策に関する決議」を冬柴国交相、山田水産庁長官ほかにも手渡し、国の誠意ある対応を求めました。

のり養殖業、イカナゴなど漁船漁業に甚大な被害をもたらしたゴールドリーダ号（G号）沈没事故に対し、5月18日、神戸市垂水漁港において1,500人の漁業者の怒りを結集した抗議集会（既報）がおこなわれたが、このたび集会の決議をもって、G号対策本部の小松本部長、山田・田沼・吉田副本部長がJF全漁連の服部会長とともに各省庁を訪れ、「事故被害の発生源の除去を含む流出する油止め対策」及び「特定航路の事故被害対策としての基金創設実現」を強く訴え、国の誠意ある対応を求めました。とくに小松本部長は次の漁期が迫っており、早急な油抜き取り対策が必要であることを強調し、冬柴大臣からは「原因者による抜き取り作業が不可能なら、国は県や市と協力して対応する」との回答がありました。

今回は先の決議文に加えて、全国11の特定航路水域に



水産庁長官（中央）に要請書を手渡す



説明を受ける冬柴大臣（右）、中央左は関代議士

関係する16漁連会長と全漁連会長の連名による「海上交通安全法別表に掲げる航路における海難事故対応について基金の設立をも含む法令化を求める要望書」ならびに小松JF兵庫漁連会長名による「油流出事故に対する要望書」の2件の要望書も提出しました。

山田水産庁長官には、とくに被害の大きかったのり養殖漁業に対し、共済掛金補助及び補助事業の拡充を要望し、長官から「検討し実行できることからやる」との回答があり、また、自民党三ツ林国土交通部長からは、「特定航路基金の設立に関しては、水産部会と合同の部会設置を検討する」との回答も得ました。

被害救済に対する基金創設は、船舶事故が第三者で関係のない漁業者に損害を与え、賠償が船責法で制限されるような理不尽な漁業被害は全国でいつ発生しても不思議ではなく、全漁連は各漁連に強く団結を呼びかけ、全国漁業者の総意から決議要望に至ったものです。私たち漁業者は「海の防人」としての誇りと、全国屈指の好漁場を子々孫々に継承しなければならない責務があります。対策本部は「国への損害賠償請求も辞さない」という強い覚悟で対策に取り組んでいます。

G号流出油事故対策本部の組織

本部長

小松 司（JF兵庫漁連）

副本部長

山田隆義（JF神戸市）漁船漁業部会長
田沼政男（JF林崎）のり養殖部会長
吉田澄平（JF淡路町）防除清掃部会長

漁船漁業部会

（部会長：山田副本部長）

糸谷安一、糸谷末二郎（JF兵庫） 前田欽宏、尻池巖（JF神戸市）
高山好治、戎井宗男（明石浦JF） 高濱史利、増本良生（JF林崎）
橘寿彦（JF江井ヶ島） 西田義規、近藤剛二（JF東二見） 竹田安夫（JF西二見）
藤澤和隆（JF播磨町） 多田重男（JF別府町） 大濱義平（JF尾上）
中川雄二、中川晴仁（JF津名） 南山寿男（JF飯屋） 森幸好（JF森）
東根寿、橋本友明（JF淡路町） 浜野恵次（JF富島） 岡本文博（JF浅野浦）
内海良金（JF育波浦） 風呂昌昭（JF室津浦） 大塚照夫（JF一宮町）

のり養殖部会

（部会長：田沼副本部長）

山本耕司、福田一義（JF神戸市） 松本時夫、吉田隆（JF明石浦）
山本誠人、石井正雄（JF林崎） 橘英樹、竹本末春（JF江井ヶ島）
中村勝行（JF東二見） 竹田好光（JF西二見） 大角久男（JF播磨町）
川崎捨男（JF別府町） 角田忠正（JF尾上） 谷忠男（JF津名）
岡田光司（JF飯屋） 森正安（JF森） 西條和明（JF富島）
河野秀二郎（JF浅野浦） 魚住幸市（JF育波浦） 松下時久（JF室津浦）
地道哲也（JF一宮町）

防除清掃部会

（部会長：吉田副本部長）

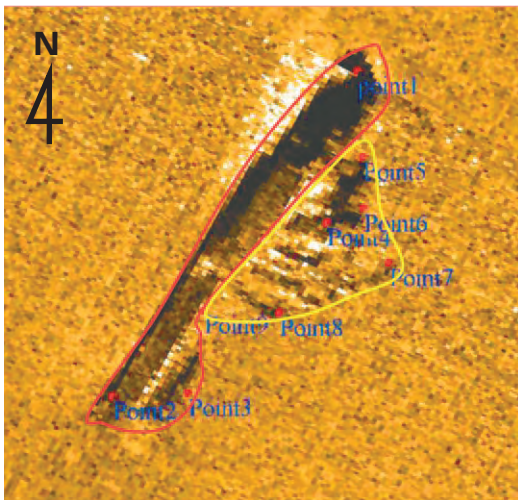
湯本一郎（JF兵庫） 山田隆義（JF神戸市） 戎本忠雄（JF明石浦）
橋本幹也（JF江井ヶ島） 岸利夫（JF東二見） 山本章等（JF西二見）
藤原正照（JF播磨町） 川崎十九男（JF別府町） 岩城和夫（JF尾上）
松原正次（JF津名） 山口信雄（JF飯屋） 森善昭（JF森）
小西正治（JF富島） 西尾満義（JF浅野浦） 小溝政二（JF育波浦）
濱田慎三郎（JF室津浦） 社領弘（JF一宮町）

漁場調査委員会

散乱した鋼材、明らかに!

G号流出油対策本部の漁場調査委員会（委員長：田沼副本部長）は、5月中旬に海洋土木(株)、(株)アーク・ジオ・サポートの全面的な協力を得て、G号沈没地点の鋼材散乱状況調査を実施し、6月7日、その結果を公表しました。

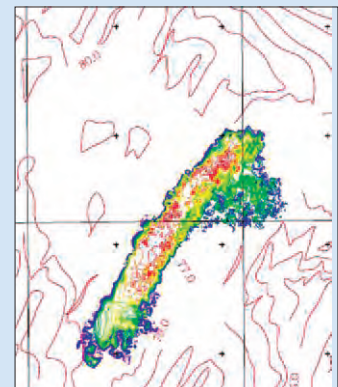
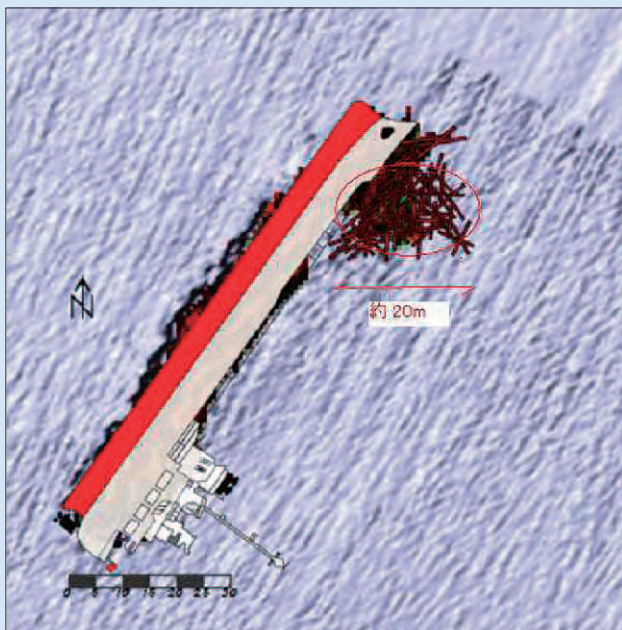
探査には最新式の3次元サイドスキャンソナーが使用され、水深80m前後の海底に横たわるG号の詳細な位置や積荷の散乱状況が確認されました。同海域は底曳網漁の好漁場で散乱した鋼材で二次災害の恐れがあり、同委員会はこの調査結果で操業安全に努めてほしいと呼びかけています。（詳細な座標はポイント図を参照のこと）



海底のG号

地点番号	経緯度		水深	備考
	世界測地系	日本測地系		
Point ①	34°36'14.994 N 135°02'58.813 E	34°36'03.317 N 135°03'08.846 E	69.57m	船体 (船首)
Point ②	34°36'13.212 N 135°02'56.832 E	34°36'01.535 N 135°03'06.865 E	69.81m	船体 (船尾)
Point ③	34°36'13.224 N 135°02'57.336 E	34°36'01.547 N 135°03'07.369 E	70.85m	船体 (ブリッジ)
Point ④	34°36'14.160 N 135°02'58.266 E	34°36'02.483 N 135°03'08.299 E	73.15m	骨材
Point ⑤	34°36'14.520 N 135°02'58.506 E	34°36'02.842 N 135°03'08.539 E		
Point ⑥	34°36'14.238 N 135°02'58.512 E	34°36'02.560 N 135°03'08.545 E		
Point ⑦	34°36'13.932 N 135°02'58.674 E	34°36'02.254 N 135°03'08.707 E		
Point ⑧	34°36'13.662 N 135°02'57.942 E	34°36'01.984 N 135°03'07.975 E		
Point ⑨	34°36'13.680 N 135°02'57.444 E	34°36'02.002 N 135°03'07.477 E		

沈船模式図



G号は76m～79mの海底に船首を北20°に向けて横たわっている。積荷の骨材は船首付近で右舷側に荷崩れ状況にある。荷崩れは船右側15～20mの範囲で確認できる。船の周辺での積荷の散乱がみられない。

燃油高騰、動けぬ漁船!

え! 重油106.5円?・・・あかん、沖へ行かれへん!

「どこまで上がるんや!」「あかんワ、沖へ行かれへん!」。ついにA重油が107円、軽油が110円という、「高騰」を乗り越して「暴騰」状態になりました。まさに、危機的というべき事態が漁村を襲い、どの浜でも大きな悲鳴が。淡路で小型底びきを経営するNさんは「沖へ行ったかて、油代が1万5千円。獲ってきた魚が、そんだけ売れへん。どないせえ云うんや!」。他の地区では、しばらく出漁を見合わせ、その間、陸の仕事へアルバイトに行こうかという人も出始めたという。

まさに、本県の漁業生産と経営が崩壊の危機に直面するという、異常な事態になりました。このため各団体では、陳情や要請活動など、活発な対応行動に取り組んでいます。

全国規模で一斉休漁を検討!

6月4日、大日本水産会、JF全漁連など12漁業団体は「緊急燃油対策会議」を開き、漁業経営の限界を超えた燃油高騰のため、「全漁船漁業を対象に、7～9月を想定した一斉休漁を実施する方向で努力する」ことを確認しました。

休漁の具体的な方法は今後の調整待ちになります。全国規模の一斉休漁は我が国で初めての試みであり、これが実現すれば、漁業者の窮状を広く国民に訴え、政治・行政に対して迅速、的確な対策を講じるよう訴えることができます。

燃油価格高騰緊急要請集会

山陰沖漁業対策自民党国会議員連盟燃油価格高騰に関する緊急要請集会

6月4日、兵庫・鳥根・鳥取の3漁連で構成する山陰沖漁業対策協議会は、燃油高騰に関する緊急要請集会をホテル・ルポール麹町（東京）で開催しました。

まず、山陰沖漁業対策協議会岸会長（JFしまね）から「まさに非常事態。自助努力や102億円基金造成でしのぐ事が出来ない。スピーディーな対応を」と要請。兵庫県のおおさか副知事は、「省エネ対策も限界に来ており、漁業そして但馬全体の経済に大きな打撃を与えるところまで来た。適切な措置を早急をお願いします。また、明石海峡船舶事故対策も大きな課題であり、これについての対応をお願いします」と強く要請し、続いて漁業代表として吉岡沖底会長（兵庫）は「燃油は大変な値上り。これだけ値上りすると遠方には行けなくなり、漁場では韓国のやりたい放題・言うがままになる。EEZ内の資源枯渇も心配だ。食の安心・安全面、あるいは、加工原料確保にも影響をおよぼす。我々も基金を積み立て、国も積み立て、その中で一定数字以上になれば補填するなどの施策を望む」と意見を述べました。

青木参議院議員は、水産庁長官ほか政府関係者に対し、



「まさに大災害を受けたと同じ状態で102億円で解決できる簡単な問題ではない、という認識で当たって欲しい」。また、細田衆議院議員から、「漁をやめ離散すると次の食糧問題に必ず直結する。燃料使用当りいくらかの補助を実現する事が食料政策上、重要。今の危機を乗り越えるための臨時的な補助制度確立が必要だ」など発言が出された。その後、農林水産省で、岩永農林水産副大臣らに要望書を手渡しました。



緊急要請書（要約）

1. 高騰する漁業用燃油価格に対する補填措置を早急に講ずること!
2. 現行の燃油高騰緊急対策基金の継続・拡大と、運用を弾力化すること!
3. 操業に必要な漁業用燃油を量的確保すること!

各団体の動き

各地区の青壮年部、女性部など、各団体の総会が相次いで開催されていますので、概要を紹介します。

摂津地区

摂津地区漁協女性部連合会

～神戸の魚をもっと広めよう!～

6月3日、神戸市立水産会館において、摂津地区漁協女性部連合会（井上二三枝会長：JF神戸市）は平成20年度通常総会を開催。出席者は35名。

この3月には、目の前の海で流出油事故が発生し、浜は大きな打撃を受けましたが、井上会長は「女性連らしい活動、食育などへの取り組みを、将来に向かって続けていきたい」「美味しい神戸の魚を、もっと広め、今後も誇りをもって活動を続けよう」と強調。

和気藹々の雰囲気の中で、環境保全活動や魚食普及運動などの事業報告や、新年度事業計画が審議され、原案どおり承認されました。



摂津女性連 井上会長

摂津・播磨地区



摂播漁青連総会

摂津播磨地区漁協青壮年部連合会

～「祭りガニ」のブランド化を!～

摂津播磨地区漁協青壮年部連合会は、5月31日、平成20年度通常総会をフローラルイン姫路で開催。平成19年度事業・決算報告、平成20年度予算案などが審議され、原案どおり承認されました。次いで「ガザミふやそう会」の活動計画では、10項目の基本方針の他、タグ取付販売による本県産ガザミ「祭りガニ」のブランド化事業の推進が掲げられ、また、役員改選では新会長にJF坊勢の大角生馬氏が選出されました。

総会に引き続き、県農林水産事務所 南山課長補佐による「ナマコの天然採苗事例」、水産技術総合センター 中西専技による「貝毒について」のテーマで学習会が行われ、60名の参加者は熱心に聴き入っていました。

淡路地区

淡路地区漁協職員協議会

～研修事業に力を入れよう～

淡路地区漁協職員協議会（福岡靖二会長：JF五色町）は5月31日、ホテルアレックス（洲本市）において平成20年度通常総会を開催。出席者は60名。平成19年度事業報告及び決算、20年度計画等が審議されました。福岡会長は「職員の資質向上のため、とくに研修事業に力を入れたい」と強調。これを受け、系統団体ではパソコン研修などの技術支援について検討中です。



淡路職員協議会総会

各団体の動き

淡路地区

社団法人淡路水交会

総会報告

(社)淡路水交会(前田吉計会長・21会員)は6月3日、洲本市のホテルアレックスで第36回通常総会を開き、19年度事業報告・収支計算書などの報告、役員の補欠選任・増員等を審議、いずれも原案通り承認しました。また、20年度事業計画は、去る3月25日開催の35回総会で承認済みのことが報告されました。

冒頭、前田会長が「浜は厳しい環境にあり、また、明石海峡のG号事故では大きな損害を受けた。今日も小松会長はじめ油対策本部正副部長が国土交通省に先日の抗議集会の決議をもって上京中。国の対応に怒りを感じる。明るい話題ではアオリイカ資源対策がいい効果を生んでいる。先代から引き継いだこの会を後退させないよ

う皆さんの協力を」と挨拶。

淡路県民局長棟健二局長は「沈船撤去は大きな課題だがさらに努力を。淡路ビジョン2015で淡路の漁業振興を図る」、県議会永田秀一議員は「全国11特定航路関係県議会に漁業救済基金の制度化に共同歩調を呼びかけた」、JF信漁連秋武宏会長は「今、小松会長らが国土交通省で冬芝大臣に要請中。皆さんも強い運動展開を」との来賓祝辞を行った。

役員の補欠選任では、淡路県民局長の渡辺地域振興部長、JF富島の小西組合長、JF一宮町の社領組合長が選任されました。

(ご臨席の先生：永田秀一県議、矢尾田勝県議、原哲明県議)



淡路女性連合会

淡路地区漁協女性部連合会

～魚食普及の推進を!～

5月31日、淡路水産センター(洲本市)において50名の出席のもと、淡路地区漁協女性部連合会(森武美会長：JF福良)は、平成20年度通常総会を開催しました。

事業報告、決算報告など熱心な議案審議の後、JF信漁連総合対策室の黒田俊文室長から「お母ちゃん、頑張るな!」と題する講演があり、「燃油高騰や資源減少など、厳しい時代だからこそ女性の力が必要!」と力説されました。水産物の付加価値向上や魚食普及の拡大に、懸命に取り組まねばならない時代です。パワフルな女性部活動が、期待されます。

淡路地区漁協青壮年部連合会

～学校給食など、淡路の魚のブランド化を!～

5月30日、淡路地区漁協青壮年部連合会は、ホテルアレックス(洲本市)において平成20年度通常総会を開催。出席者は70名。平成19年度事業・決算報告、20年度予算案などが審議され、学校給食を通じて「淡路の魚」のブランド化を図る等、7項目の重点活動目標が確認されました。また、役員改選では新会長に中村高治氏(JF由良町中央)が選任され、引き続いて、神戸船用工業会の村上事務局長の「漁船機関のトラブル防止のための整備点検」について、学習会が行われました。



淡路漁青連合会

初会合!

JF専務・参事会議

6月4日、水産会館において県下全系統団体及び全JFの専務・参事・事務長が一堂に会しての「JF専務・参事会議」の初会合が開かれました。

天井知らずの燃油価格高騰など、水産業を取り巻く情勢の急激な悪化から、漁業そのものの存続が危ぶまれるようになり、漁協・系統組織は「思想の危機」「信頼の危機」「経営の危機」に直面しています。

この、未曾有の漁業経営危機に立ち向かうため、JFグループ兵庫の専務・参事・事務長を構成員とする実質的な事務局会議を立ち上げて、事務方の立場からも漁業経営危機突破をめざそうとするものです。

これまでは共通役員制をもつ3団体が総会に先立ち、摂播・淡路・但馬の3地区で、主として組合長を対象に説明会を開催していましたが、今年からは漁協運営実務を直接担当している事務局の皆さんにも問題点や課題を説明し、これからの方向について現場の声を聞きながら、事務レベルの協議を重ねようというものです。

このたびの会合では80名が出席し、6月20日に開催が予



JF 専務参事会議には 80 名が参加

定されている系統3団体の総会に向けて、JF兵庫漁連、JF兵庫信漁連、JFぎょさい兵庫の平成20年度決算状況や新年度事業計画について詳細な説明が行われたのち、(財)日本エネルギー経済研究所の佐藤、澁谷両氏による石油の需給見通しについての講演がありました。

今後、4半期に1回程度の会合をもち、各地区JFの抱える問題を協議したり、事務能力の研鑽向上のための研修や講習が予定されています。



スギ(杉)のこと

◆日本は「稲とスギの国」だと言う。スギは学名にヤポニカがつく日本独自の樹木で、スギ科スギ属一種で変種が多い。日本海側のウラ系と太平洋側のオモテ系に大別され数十の品種があるという。ウラ系は下枝が枯れずに垂れ下がり、地面を這って根を出し別の個体になる性質がある。そんな性質から利用法も異なるそうだ。スギはテッペンが尖った炎のような樹形で、水湿地を好む所から沢筋に植えられることが多い。木曾地方でヒノキ・サワラ・ヒバ・コウヤマキ・ネズコの五種を《木曾五木》と呼ぶ。スギが仲間入りしないのは何故だろう。生育していないのか。

◆スギは「花粉症」により公害の親玉になって仕舞ったが、スギ自体は非都会的な公害に弱い樹木なのだそうだ。スギだらけの山里では花粉症の話は聞かれず、むしろスギは葉に気分を明るくする成分があるのを歓迎している。今は街路樹としては使われないが、昔の街道筋には植えられた。日光の杉並木など素晴らしい景観を残している。巨大な屋久杉は、観光のお目当てになる。花粉症の原因は、地域で違い北海道でシラカンバや牧草が抗原だし、和歌山県でウメ、小豆島はオリーブの花粉が元凶だ。ブタクサやカモガヤなど雑草が起因の場合も多く、六甲山に五百万本あるという砂防用ヤシャブシでも発症する。

◆造り酒屋の軒下にスギの葉を丸く束ねた《杉玉》が吊り下げられる。酒林と呼ばれるもので、新酒の出る時に新しく作り替え、その枯れ具合で酒の出荷時期を示すという。酒樽にスギ材を用いるのは、スギに含まれる芳香酸に防腐・防虫作用があり、発酵菌の繁殖を抑える目的がある。スギの持つ香りが酒の味を良くするともいい、独特の移り香が期待される。しかし、スギの匂いは非常に控えめで、相手の香りを損なわぬ特徴があるそうだ。今、殆どが瓶詰めになり酒樽は特殊なものとなっている。非常に勿体ないという気がする。

◆登呂遺跡で畦道の補強に用いた、スギ矢板で造った遺構が発掘された。この時代には大きなスギの天然林が近くにあったものと思われる。現在のスギは、戦後に植林を奨励したもので、人口造林面積の約6割をスギが占めるという。それだけ需要も多く、秋田・天竜・吉野・智頭などが、スギの美林で知られている。秋田杉は高級銘木として取引され、薄く剥いて天井板に使われる。スギの長寿も知られるが、屋久杉は約千五百年と推定される。材木としても貴重だ。「スギに鉋がかけられたら一人前」と大工の棟梁がいう。堅い木は削り易いが、軟らかいスギは扱い難い。鉋が板に吸いつくようなら最高だそうだ。



NEW FACE 新人紹介のコーナー

頑張ります!!



漁業の未来を担う、若い力を紹介します。

JF 兵庫漁連

流通加工事業本部
流通加工部

みやの ちひろ
宮野 千裕

持ち前の明るさで精一杯がんばります。



石油事業本部石油部
大久保給油所

せきの あきひろ
関野 明広

1日でも早く先輩方のように責任ある仕事ができるようがんばりますので、よろしくお願いいたします。



石油事業本部石油部
明石油槽所

たちばな しょうま
橘 翔真

まだまだわからないことばかりですけど、頑張りますのでよろしくお願いいたします。



JF 兵庫信漁連

総務部 総務課

にしもと ゆき
西本 幸岐

初心を忘れず、一日も早く仕事が覚えられるように頑張ります。よろしく御願います。



営業部 業務課

おおにし だいすけ
大西 大輔

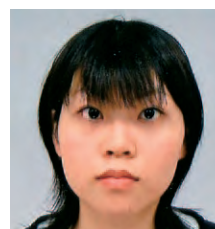
兵庫県水産業の役に立てるよう、一生懸命頑張ります。



富島漁業協同組合

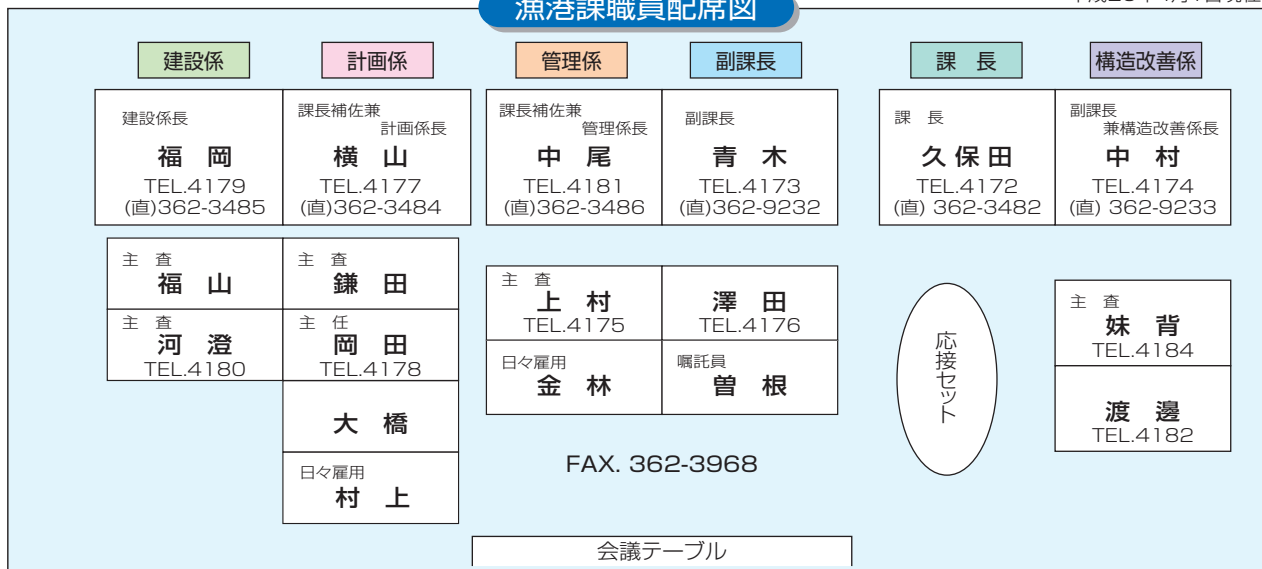
くわな つばさ
桑名 翼

一日も早く組合員のお役に立てるよう頑張りたいと思っておりますので、今後とも御指導の程、宜しく御願います。



漁港課職員配席図

平成20年4月1日現在



建設係

- ① 県管理の漁港及び漁港海岸事業の実施に関する事
- ② 市町管理の漁港及び漁港海岸事業の指導監督に関する事
- ③ 災害復旧に関する事

計画係

- ① 漁港及び漁港海岸の整備計画及び調査に関する事
- ② 漁港及び漁港海岸事業の予算要求に関する事
- ③ 漁港施設用地の計画及び調査に関する事

管理係

- ① 総務課との連絡に関する事
- ② 文書及び公印の管理に関する事
- ③ 漁港及び漁港海岸の事業事務に関する事
- ④ 漁港及び海岸保全区域内における財産に関する事
- ⑤ 県営漁港の維持管理に関する事
- ⑥ 課内各係に属さないこと

構造改善係

- ① 漁港整備の企画、総合調整に関する事
- ② 漁港漁村に係る地域活性化施策の推進に関する事
- ③ 漁港漁村環境美化事業に関する事
- ④ プレジャーボート対策に関する事
- ⑤ 漁業経営構造改善事業に関する事
- ⑥ 水産物の流通加工対策に関する事
- ⑦ 共同利用施設の災害復旧に関する事

学習資料「ひょうごの農林水産業」 ～ 作成委員会が小学校へ贈呈 ～



小学4年生向け学習資料
「ひょうごの農林水産業」

JAグループ兵庫では、これまで平成元年度より県教育委員会の協力も得ながら小学生用学習資料「兵庫の農業」を制作し、JAを通じて全小学校・小学4年生児童に配布してきました。小学4年生で「地域のようす」を、小学5年生で「農業」について社会科で学ぶことから、本県農業についてより理解を深めてもらうため、教科書の副教材として毎年内容を改正しつつ制作してきたものです。

平成20年度版からは、農業・林業・漁業の第1次産業全体を網羅した学習教材を制作することになり、昨年5月に、県・JA兵庫中央会・JF兵庫漁連・県森連で「農林水産業副読本作成委員会」を結成し、兵庫県小学校教育研究会社会科部会の協力も得ながら、各3回の委員会・作業部会での協議を経て『ひょうごの農林水産業』を完成させました。

同委員会では、4月中旬に57,400部を制作し、県内小学校を通じ全小学4年生児童及び4年生担任教諭に贈呈しました。

学習資料の内容は、①兵庫の農林水産業ってなに？ ②ひょうごの農林水産業(兵庫県農業の品目別概要など) ③わたしたちの地域(地域別の特徴ある農業など) ④県産品の順位はどうか？ ⑤農家のくらしと農林水産物の1年 ⑥インターネットでも調べてみよう!! からなり、随所に兵庫県マスコット「はばタン」が登場して語ってくれる。また、農林水産業を支える団体として、農業協同組合(JA)の活動や仕事についても、1ページにわたり文章と写真で紹介しました。

神戸市外国語大学消費生活協同組合 新入生歓迎セミナー2008を 開催しました



多くの新入生の参加がありました

4月6日(日)、例年恒例の新入生歓迎セミナーを学生会館にて実施しました。実施にあたっては生協学生委員会の学生が、準備・当日設営・進行等、すべてを取り仕切り、まず午前中は、自宅外生(一人暮らしを始める新入生)対象のお料理講習会です。メニューはスパゲティナポリタン、豚しゃぶサラダ。先輩も交え和気あいあいと調理は進み、おいしくいただくことができました。健康管理はまず食生活からということで、新入生の皆さんにもその大切さがわかっていただけたと思います。午後からは、学科毎に分かれて各種セミナーを。新入生参加者数も150名と、新入生3人に1人が参加した計算です。専務理事からの歓迎挨拶・生協についての説明(組織、事業、共済など)・自己紹介タイム・ゲーム大会・フリートークと盛りだくさんの内容でした。終了後も会場に残って談笑する姿があちこち見られ、友達作りという目標は大いに達成できたようです。新入生の方々に大変好評なこの企画、これからもずっと続けていきたいと思っています。

(通信員 関 浩二)



瀬戸内海里海シンポジウムに参加！

今秋にも議員連盟設立か？

5月21日（水）、兵庫県公館（神戸市）において、瀬戸内海を豊かで美しい里海として再生をめざす「瀬戸内海里海シンポジウム」（主催：同シンポ実行委員会）が、約300名の参加のもと開催されました。

国連大学のA.H.ザクリ氏や東大名誉教授の安藤忠雄氏による基調講演に続き、パネルディスカッションでは植樹活動などの事例紹介とあわせ、身近な環境活動を積み重ねることによって、陸と海との生態的つながりを回復することの大切さが強調され、本県漁業関係出席者20名は熱心に聴き入っていました。

これから、豊穡の海へ再生の要となる「瀬戸内海再生法」（仮称）の制定の動きが急ピッチで進むものとみられ、漁業関係者はなお一層の関心を払う必要があります。



シンポジウム会場（兵庫県公館）



井戸知事の開会挨拶

NEWS

今月のイベント・お知らせ

ご参加ください！ 漁業者の森 ケアを実施

「漁業者の森」のケア作業を行います。ふるってご参加ください。

実施日：6月28日（土）10:00～14:00

場所：県立三木山森林公園（三木市）

実施内容：下草刈り

集合場所：10:00 に公園内の「森の文化館」前に集合願います。

問い合わせ先：JF 兵庫漁連指導部 078-652-3444

平成20年度 全国海難防止強調運動のお知らせ

海難事故ゼロをめざし、全国海難防止協調運動が展開されます。海上安全はみんなの願い。こぞって運動にご理解とご協力を！

期間：平成20年7月16日（水）～31日（木）の16日間

主催：（社）日本海難防止協会 （社）海上保安協会 海上保安庁

後援：国土交通省 気象庁 海難審判庁 水産庁 文部科学省
財団法人日本海事センター

重点事項：①見張り不十分または操船不適切による衝突海難の防止
②ライフジャケット着用の推進

しっかり見張って
早めの回避、
あなたの安全・家族の安心